

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 3



平成 26 年 4 月 21 日 文責 高尾久美子

保・小・中連携をより深めて！！

4月15日（火）第1回「富士河口湖町保・小・中連携協議会」を開きました。保育所7所、小学校8校、中学校4校、それぞれの園長先生、校長先生、梶原教育長にお集まりいただきました。教育長さんから「これからの情報交換が有用なものになっていくことが大切であること、特にアレルギー等の情報も繋げていくことが大切である」というお言葉をいただきました。「小1プロブレム」「中1ギャップ」を未然に防止し、子どもたちがすんなりと新しい環境に入るために連携は欠かせません。この会は、今年で2年目を迎えます。会の後半では、各校区別に分かれて話し合いをもちました。昨年度の校區別活動状況をふまえて、さらに今年度どのように進めていったらいいのか、また、今ある問題をどのように連携をとって解決していくのかを確認しました。今日のこの会をスタートに、一年間充実した連携が図られると思います。



小1プロブレム

小学校に入学したばかりの児童が、授業中座ってられない、教師の話を聞かない、集団行動がとれず適応できない状態。背景として、基本的な生活習慣が身につけていないことやコミュニケーション能力の低下等が取り上げられている。

中1ギャップ

小学生から中学生になり、中学校での学習や生活に適応できずに中学1年生時に学力の低下や不登校の急増などの教育課題が顕著に現れる現象。